京都大学サマーデザインスクール2017

テーマ提案書

※テーマ提案に先立って、ご案内のメールに添付している「テーマ提案に際しての確認事項」を必ずご確認ください。確認事項はwebページにも掲載しております。

http://www.design.kyoto-u.ac.jp/sds2017/

■以下の記載内容は参加者募集時にWebに掲載します。

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ名称（必須） |  |
| 使用言語（必須） | いずれかを選択し、該当するもののみを残してください。 |
| 日本語　・　英語　・　日本語（英語話者へのサポートあり） |
| 実施者（必須） | 実施者全員の氏名、所属、専門分野、メールアドレスを1グループあたり5名を上限としてご記入ください。※作業スペース（45cm\*180cmの机\*2+幅180cmのホワイトボード）+）の制約上、人数制約は厳守ください。※所属については、大学名や企業名だけではなく、専攻名や部署名までお書きください。※専門分野については、主な研究内容や仕事内容などについて簡単に記載ください。※役割については、ファシリテータ、アドバイザ、専門知識提供、技術サポート等を記載ください。※複数テーマの掛け持ちも可能ですが、過度な負担とならないようにご留意ください。※メールアドレスはWebに掲載しません。 |
| 氏名 | 所属 | 専門分野 | 役割 | メールアドレス |
| (代表者) |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 概要（必須） | テーマの背景や目的、ワークの内容などについて、200～800文字程度を目安にご記入ください。 |
|  |
| 教育目標（必須） | 参加者が終了時に何を学んだか明確に感じられるよう、十分に教育目標を絞り込んでください。とくに、ワークの過程において何を教育するのか意識し、成果偏重とならないよう配慮ください。 |
|  |
| デザイン理論とデザイン手法（必須） | 参加者に教育するデザイン理論やデザイン手法、およびそれぞれの具体的な学習方法（○○が講義を行なう、△△という文献を提示する、など）をご記入ください。 |
| 【デザイン理論】【デザイン手法】 |

|  |  |
| --- | --- |
| スケジュール（必須） | 1日目と2日目のスケジュールを具体的にご記入ください。※3日目の午後はプレゼンテーション、午前はその準備になりますので記入不要です。3日目のプレゼンテーションは、前回同様のポスター形式を予定しています。※会場（KRP）以外に移動して実施する場合、そのことがわかるようにご記入ください※1日目の冒頭と3日目の午前中は、KRPでワークを行なうようにしてください（それぞれオープニングと、ポスター発表準備のため） |
| 【1日目 9月13日】（午前）（午後①：昼食～コーヒーブレイク）（午後②：コーヒーブレイク～夕方） |
| 【2日目 9月14日】（午前）（午後①：昼食～コーヒーブレイク）（午後②：コーヒーブレイク～夕方） |
| 【3日目 9月15日】：共通のため記入不要（午前）・プレゼンテーション準備（KRP）（午後）・プレゼンテーション（KRP） |
| 参加者へのメッセージ（必須） | 参加者の募集にあたって伝えたいこと、自己アピールなどを、自由形式でご記入ください。一言だけでもかまいません。 |
|  |
| テーマ概要スライドについて（必須） | テーマ概要をスライド一枚で別途添付して下さい。写真や図表など含めて、参加者の興味を引くようお願いいたします。Webにひな形がありますので、ダウンロードしてご利用下さい。<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/sds2017/theme-application/format/sds2017_slide_format.ppt> |

■これ以降の記載内容はWebに掲載しません。

|  |  |
| --- | --- |
| 新規性と継続性（必須） | サマーデザインスクールが回を重ねて成長するには、新規テーマと継続テーマのバランスが重要と考えています。新規テーマをご提案の場合には、なぜ今、そのテーマが大切なのかをお書きください。かつて同様のテーマを実施され継続される場合には、前回の経験をどのように生かしてテーマ設定や手法を改善されたかをお書きください。 |
|  |
| 確認事項への同意（必須） | 「テーマ提案に際しての確認事項」（5-6ページ）をご覧になり、同意いただけましたでしょうか？　いずれかを選択し、該当するもののみを残してください。 |
| はい　・　いいえ |
| テーマ内容についての相談事項 | テーマの内容について、特に実行委員会に相談したいことがあればご記入ください。フィードバック時に可能な限りご回答するようにします。なお、必ずお応えできるとは限りませんのでご了承ください。 |
|  |
| 依頼事項、連絡事項等 | 実行委員会・事務局への依頼事項、連絡事項等がありましたらご記入ください。前回までのサマーデザインスクールでお気づきの点なども、こちらにご記入ください。なお、必ずお応えできるとは限りませんのでご了承ください。※テーマワークで使用する机、椅子、ホワイトボード、付箋紙、模造紙、筆記用具などは主催者側で用意しますが、それ以外に必要な物品は原則として実施者側でご用意ください。 |
|  |

テーマ提案に際しての確認事項

テーマのご提案にあたって、次の事項をご確認ください。

◆テーマについて

* 異領域、異文化の参加者が協働して問題発見や問題解決にあたることを想定したテーマ設計をお願いします。
* 昨年度の参加者・実施者のアンケート等において、次のような指摘を受けたテーマがありました。ご留意の上、テーマ設計を進めてください。
	+ 問題の具体性や、社会での実現性に乏しい。
	+ フィールドワークの分量が多すぎる、求めるアウトプットが多すぎるなどで、３日間でのワークのボリュームを超えている。
	+ テーマが専門特化されすぎており、多分野の人には参加しづらい。
* 昨年度のテーマワークを分析した結果をテーマ提案の参考資料として公開しています。テーマ提案の参考にお使いください。
* これまで実施されたテーマの提案内容はWebで閲覧できますので、それらとの違い（目的やアプローチ等）が分かるようにテーマ設計をお願いします。

◆テーマの実施について

* 当日のテーマワークがよりよいものとなるよう、いただいたテーマ提案に対して、サマーデザインスクール実行委員会よりフィードバックをさせていただきます。内容の一部修正をご検討いただく場合がありますが、ご対応お願いします。
* 会場のキャパシティーを超える数の提案をいただいた場合などに関しましては、テーマ実施をお断りする場合があります。また、参加希望者が少ない場合には実施できないことがあります。以上、ご了承頂きますようお願いします。
* 1グループあたりの参加者数は、原則として4名以上、6名以下となります。

◆発表について

* 3日目の午後に成果発表会を30秒の口頭プレゼンとポスター発表で行います。3日目の午前までに発表内容を準備してください。また、テーマワークのプロセスも評価対象となるため、発表内容にプロセスも含めるようにしてください。

◆費用について

* 主催者は、実施者や参加者の旅費、謝金、物品代等を負担しません。テーマに特有の別途必要となる費用は、当該テーマの実施者の所属機関に負担していただきます。
* テーマ実施は、主催・共催団体の大学やデザインイノベーションコンソーシアム（http://designinnovation.jp/）会員が優先されます。主催・共催団体の大学外やコンソーシアム非会員からのテーマ提案については、実施料10万円を申し受けます。この機会にコンソーシアムへの入会を検討頂くようお願いします。サマーデザインスクールの自立運営のため、ご理解くださいますようよろしくお願いします。
* また、サマーデザインスクールの自立運営のため、参加者から参加費を徴収します。主催・共催団体の大学に所属する学生は1,000円、同組織に所属する教職員およびデザインイノベーションコンソーシアム会員団体に所属の方は3,000円、上記以外の学生は3,000円，上記以外の一般の方は10,000円を予定しています。

◆知財について

* テーマで新規に生じたアイディア(特許権の対象となる発明及び実用新案権の対象となる考案並びにこれらを構成するものをいい、意匠権の対象となる意匠の創作を除く。)については、既に産業財産権が出願されているものを除き、公知のものとして扱い、その活用は自由とします。
* テーマワークで新規に創作された意匠に係る意匠登録を受ける権利については、当該テーマの参加者に等しく帰属します。参加者の所属機関、実施者、実施者の所属機関には帰属しません。
* テーマの実施のために必要となる既存の知財・研究成果・データ等は、当該テーマの実施者から当該テーマの参加者に予め明示してください。ただし、当該知財・研究成果・データ等に関する秘密保持契約（NDA）を参加者に求めないでください。
* テーマの実施において機密情報を扱わないでください。機密情報の漏えいに関して、主催者は一切責任を負いません。

◆個人情報について

* 主催者の提供した参加者の連絡先を用いて、当該年度のサマーデザインスクールのテーマ実施に係らない連絡を行う場合、連絡に関して参加者から個別に合意を得てください。また、当該年度のサマーデザインスクールのテーマ実施に係らないイベント（アイデアの継続したブラッシュアップ等）に関して主催者は一切責任を負いません。そのようなイベントを行う場合、そのイベントの責任の所在（主催等）を明確にして実施ください。

◆成果の公開について

* テーマワークの成果は、サマーデザインスクールの発表会、「京都大学ICTイノベーション」における展示のほか、主催・共催団体のWeb・ニューズレター・各種展示等を通じて公開させていただきます。

◆その他の注意事項

* テーマワークをフィールドで実施するときにインタビューやアンケートなどを行うことが予想されます。その場合に、「京都大学サマーデザインスクール」の名称の利用を認めますが、トラブルが生じても、主催者は責任を負わないことを予めご了承ください。
* 実施者や実施者の所属機関が、当該テーマの参加者に対して、今回のテーマの実施に係らない連絡を、サマーデザインスクールの名を用いて行うことを禁止します。